

●最低制限価格制度について

最低制限価格とは、粗悪工事の発生、労働条件の悪化等、ダンピング対策を目的として、最低限必要な経費等を勘案して設定する下限額のこと、これを下回る入札があった場合は無効となる。

算定方法には、設計額の各内訳に固定の割合を乗じて、入札前に予め算定しておく方法（固定型）と、入札価格の平均等変動する諸条件にもとにして、入札時点で算定する方法（変動型）がある。

